

【coagari 学習会】「出張！加子母木匠塾 建築学科卒業生と木製ボードゲーム作り」を開催しました！

1月28（火曜日）、2月25日（火曜日）の2日間の日程で、「出張！加子母木匠塾 建築学科卒業生と木製ボードゲーム作り」と題し、地元の木材を使ってオリジナルの「なかつがわ将棋」を作るワークショップをひと・まちテラスで開催しました。中津高校と恵那高校からのべ7人が参加し、加子母地域で「地域おこし協力隊」として活動する、建築学科出身の原田佳苗さんと山本明斗さんが講師を務めました。

1日目の前半は、原田さんと山本さんからこれまでの経験などについて話を聞いた後、将棋のそれぞれの駒のデザインについて意見を出し合いました。「銀将」は「アユ」（キラキラ銀色に輝くことから）、「歩兵」は「栗」（栗がコロコロ転がるように進む様子から）など、ユニークなアイデアがたくさん出ました。

1日目の後半と2日目は、中津川市産のヒノキなどをのこぎりで切って、将棋の盤面や駒を加工する作業を行いました。駒は木の枝を輪切りにして作り、駒の種類によって厚みを変えるなどの工夫をしました。また、ヒノキの板を組み合わせて約65センチ四方の大きな盤面を作りました。生徒たちは、原田さんと山本さんからコツを教わり、すぐにのこぎりを使いこなしていました。

その後、焼きペンを使って駒に文字やイラストを描きました。将棋の駒は40枚必要で、全員で協力しながら一つ一つ丁寧に仕上げました。将棋が完成すると「かわいい！」「お～！」という声上がり、みんな達成感を味わいました。

参加した生徒からは、「地域のことを考えながら将棋のデザインを考えたり実際に作る事が出来て楽しかったです」などの感想がありました。

将棋は、3月3日（月曜日）から3月16日（日曜日）までひと・まちテラス1階に展示し、来館者に自由に遊んでもらうことで、中津川の魅力発信やにぎわいの創出につなげていきます。

※加子母木匠塾…全国8大学の建築学科の学生が、加子母地域に滞在しながら木造建築を学ぶ取り組み



域学連携の拠点施設「coagari」では、職業講話や学習会など、地域の方々と交流しながら、将来の職業選択の一助となるような企画を開催しています。こんな職業について知りたい！こんな話が聞きたい！というリクエストがありましたら、いつでもご連絡ください。

